

家庭用インクジェットプリンター“PIXUS XK110”など 4 機種を発売 仕事や趣味・学習などのさまざまなユースシーンに応える機能と使い勝手を向上

キヤノンは、家庭用インクジェットプリンター「PIXUS（ピクス）」シリーズの新製品として、プレミアムモデル“XK110”とハイスペックモデル“TS8630”の 2 機種と、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載した“G3370／G1330”の 2 機種を 2022 年 11 月 10 日より順次発売します。



PIXUS XK110

PIXUS TS8630

G3370

G1330

在宅勤務やオンライン学習の機会が増える中、自宅においてもより簡単に効率よく、低ランニングコストでプリント・スキャン・コピーを行いたいというニーズが高まっています。写真や文書印刷に適した“XK110／TS8630”は、ユースシーンに合わせて選択できる UI（ユーザーインターフェース）を採用し、少ない操作でプリントやスキャンなどを行えます。文書を多く印刷するユーザーに最適な“G3370／G1330”は、特大容量タンク搭載により、大量印刷と低ランニングコストを実現します。また、使い勝手のよい新デザインと簡単にインクが補充できる機構を採用しています。

1. 仕事や家庭で利用する機能をまとめた UI の採用と印刷待ち時間の短縮を実現した“XK110／TS8630”

“XK110”のタッチパネルには、「標準モード」に加えて、「仕事」「学習」「ライフ」といったシーンごとに使う機能をまとめた「Switch UI」を新たに採用しました。ワンタッチで画面を切り替えて、必要な機能に素早くアクセスできます。“TS8630”には「かんたんモード」を採用し、よく使う機能の設定を簡素化することで、手軽にプリントやコピーが行えます。さらに、“XK110／TS8630”ともに普通紙の連続印刷や両面印刷で生じていた待ち時間を削減し、プリント作業を効率化します。また、“XK110”は低ランニングコストでの印刷が可能で、L 判印刷に必要なインク／用紙の合計コストは約 9.8 円※1 を実現しています。“TS8630”は、6 色ハイブリッドインクによる高画質写真が約 10 秒※2（L 判）で印刷できます。

2. 低ランニングコストと新デザインによる使いやすさを実現した“G3370／G1330”

「GIGA TANK」を搭載した“G3370／G1330”は、ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 7,600 ページ※3、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 8,100 ページ※3 の大量印刷が可能です。インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページ当たり約 0.4 円※4、A4 カラー文書 1 ページ当たり約 1.0 円※4 と低ランニングコストを実現します。さらに、使い勝手を意識した新デザインを採用しています。“G3370”はバックライト付きの液晶パネルを搭載し、操作時の視認性を向上したほか、カバーの開閉など操作する部分を分かりやすくすることでユーザーが迷うことなく使用できます。

※1. 税込み。キヤノン写真用紙・光沢ゴールド使用時のインクと用紙の合計コスト。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。

※2. キヤノン写真用紙・光沢ゴールドを使用し、印刷品質設定が標準の場合。測定環境の詳細はホームページをご参照ください。

※3. エコノミーモード時。標準モード時はブラック約 6,000 ページ、カラー約 7,700 ページ。印字可能枚数は、A4 カラー文書 ISO/IEC 24712 を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填（じゅうてん）したインクボトルではなく、2 回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。

※4. 税込み。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」（一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定）に従い記載しています。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。

製品名	希望小売価格	発売日
PIXUS XK110／PIXUS TS8630	オープン価格	2022年11月10日
G3370／G1330		2022年12月上旬

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-01-0015
 - インクジェットプリンターホームページ : canon.jp/pixus

〈PIXUS XK110 の主な特長〉

1. 仕事や家庭でよく利用する機能をまとめてスマートに操作できる UI を採用

- タッチパネルに新たに採用した「Switch UI」は、用途に合わせて「仕事」「学習」「ライフ」などのシーンを 3 種類選択して登録可能。さらに、シーンごとに「両面コピー」「クラウドから印刷」などのよく使う機能を 3 つ選択可能。
- 各シーンの機能を表示させない「ロック機能」を搭載しており、チャイルドロックとしても活用可能。あらかじめ設定したパスワードでロック解除可能。
- 「1 プッシュコピー」はタッチパネルでの操作を行うことなく、スタートボタン（カラー／モノクロ）を押すだけでコピー可能。

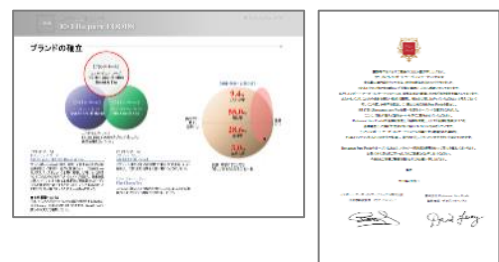


2. 連続・両面印刷での待ち時間短縮により快適な印刷を実現

- 普通紙連続印刷での「インク乾燥待ち時間※1」をなくし、印刷速度と画像定着性を両立。
- 自動両面印刷では、表面印刷後の「インクを定着させる時間」をなくし、裏面印刷までの待ち時間を短縮※2。

※1.「PIXUS XK100」(2021年11月発売)では、黒く塗りつぶした画像を含む印刷の際に約20秒必要だったインク乾燥待ち時間が不要になりました。

※2.「PIXUS XK90」(2020年8月発売)で必要だった「インクを定着させる時間」が不要になり、裏面印刷までの待ち時間が約1/4に短縮されました。「インクを定着させる時間」が不要になるのは、右のようなインク使用量の少ない文書を印刷する場合です。インク使用量が多い文書では機能しない場合があります。



ビジネス文書の例（プレゼンテーション/レター）

3. Wi-Fi との接続性やセキュリティが向上

- 新たに無線 LAN 規格「IEEE802.11ac」に対応し、同規格に対応した無線ルーターやスマートデバイスと接続可能。無線ルーターなどのアクセスポイントとプリンターをつなぐ「無線インフラモード」と、スマートデバイスからのワイヤレス印刷が可能な「無線ダイレクトモード」は 2.4GHz と 5GHz の両周波数に対応し、設置環境に応じて選択が可能。
- パスワードが漏えいしても通信内容が解読されない「WPA3-Personal」や、ネットワークから情報漏えいさせない「TLS1.3」などのセキュリティに対応。

4. 親しみやすさと使いやすさを両立したデザイン

- さまざまな場所で使用しやすい、明度の高い白色を本体カラーに採用。ボタンの形状は凹面が大きく、ユーザーが操作しやすいデザイン。



〈PIXUS TS8630 の主な特長〉

1. 印刷速度の向上と待ち時間の短縮により快適な印刷を実現

- 6色ハイブリッドインクによる高画質写真がプリント可能。L判フチなし写真の印刷速度が、従来機種※1の約16秒から約10秒に短縮。
- 普通紙連続印刷での「インク乾燥待ち時間※2」をなくし、印刷速度と画像定着性を両立。
- 自動両面印刷では、表面印刷後の「インクを定着させる時間」をなくし、裏面印刷までの待ち時間を短縮※3。



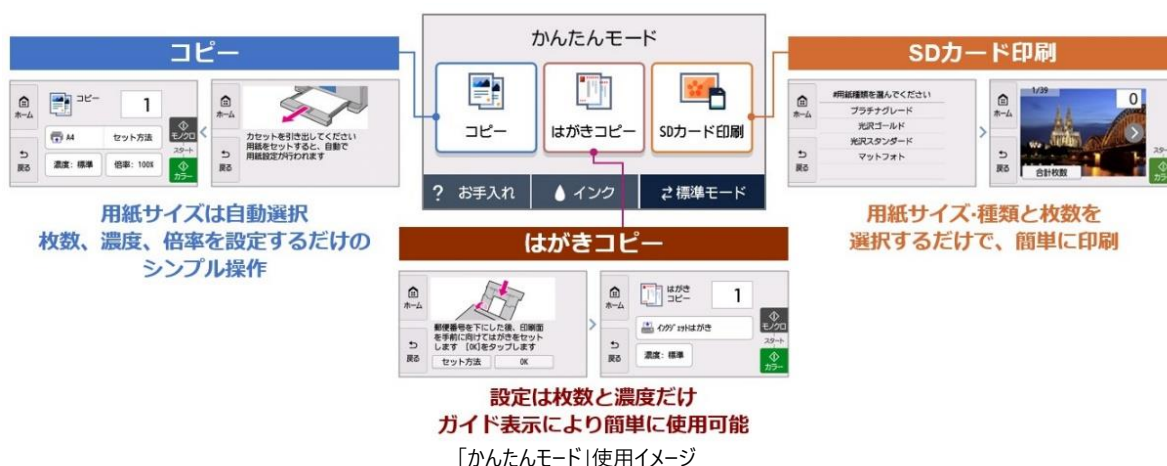
※1.「PIXUS TS8530」(2021年11月発売)。

※2.「PIXUS TS8530」(2021年11月発売)では、黒く塗りつぶした画像を含む印刷の際に約20秒必要だったインク乾燥待ち時間が不要になりました。

※3.「PIXUS TS8430」(2020年8月発売)で必要だった「インクを定着させる時間」が不要になり、裏面印刷までの待ち時間が約1/4に短縮されました。「インクを定着させる時間」が不要になるのは、インク使用量の少ない文書(P3記載)を印刷する場合です。インク使用量が多い文書では機能しない場合があります。

2. シンプルに操作できるかんたんモードを採用

- タッチパネルのホーム画面には、「標準モード」に加え、設定を簡素化した「かんたんモード」を採用し、迷うことなくスムーズなコピー・印刷が可能。
- 「コピー」では枚数・濃度・倍率だけを、「はがきコピー」では枚数と濃度だけを設定するシンプルな操作で簡単に使用可能。また、「SDカード印刷」では、用紙サイズと種類の組み合わせに絞って設定項目を表示することで、より簡単なプリントを実現。



3. Wi-Fi との接続性やセキュリティが向上

- 新たに無線 LAN 規格「IEEE802.11ac」に対応し、同規格に対応した無線ルーターやスマートデバイスと接続可能。無線ルーターなどのアクセスポイントとプリンターをつなぐ「無線インフラモード」と、スマートデバイスからのワイヤレス印刷が可能な「無線ダイレクトモード」は 2.4GHz と 5GHz の両周波数に対応し、設置環境に応じて選択が可能。
- パスワードが漏えいしても通信内容が解読されない「WPA3-Personal」や、ネットワークから情報漏えいさせない「TLS1.3」などのセキュリティに対応。

4. 空間への調和と使いやすさを追求した本体デザイン

- 空間と調和するたたずまいと使いやすさを両立し、さまざまなインテリアになじむデザインを実現。
- ブラック、ホワイト、レッドの 3 色から選択可能。



ブラック



ホワイト



レッド

〈G3370／G1330 の主な特長〉

1. 大量印刷を低ランニングコストで実現

- エコノミーモードの場合、ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 7,600 ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 8,100 ページの大量印刷が可能。
- インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページ当たり約 0.4 円（税込み）、A4 カラー文書 1 ページ当たり約 1.0 円（税込み）の低ランニングコストを実現。

2. デザインの刷新により簡単で正確なインク補充をはじめとする使い勝手の向上

- GIGA シリーズで初のバックライト付き 1.35 型液晶パネルを採用し、操作性と視認性を向上。（G3370 のみ）
- ドキュメントカバーなどユーザーが操作する部分にリブやへこみを付けて、分かりやすい操作部を実現。
- メンテナンスカートリッジやプリントヘッドをユーザー自身で簡単に交換可能（ともに別売り）。インク注入口のキャップにバネを付けたことにより、簡単にあけることが可能。



バックライト付きの 1.35 型液晶パネルで視認性が向上 (G3370 のみ)



プリントヘッドやメンテナンスカートリッジをユーザー自身で交換可能

3. Wi-Fi との接続性やセキュリティが向上

- Wi-Fi 機能は 2.4GHz に加え、新たに「IEEE802.11ac」などの 5GHz の周波数にも対応。
- パスワードが漏えいしても通信内容が解読されない「WPA3-Personal」や、ネットワークから情報漏えいさせない「TLS1.3」などのセキュリティに対応。

4. エコフレンドリーな緩衝材を採用

- 緩衝材を発泡スチロールからパルプモールド^{※1}に変更。プラスチックを削減し、焼却時の有害物質排出を抑制。

※1.古い新聞紙や雑誌などを水に溶かし、乾燥させて成形した緩衝材。



環境に配慮したパルプモールド製の緩衝材を使用

5. 2つのカラー展開

- “G3370”はブラックとホワイトの 2 色を用意。設置する場所になじむ本体カラーを選択可能。



ブラック



ホワイト

〈新製品共通の特長〉

- 直感的な操作でプリントやスキャンができるシンプルな UI を採用した、PC アプリ「Canon Inkjet Smart Connect^{※1}」に対応。Windows PC 版は表示されるガイダンスに沿って操作するだけで、迷うことなく簡単にプリンター本体のセットアップが可能。
- スマホアプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY^{※1}」を使うことで、スマホやタブレット内の文書をワイヤレスで印刷できるほか、スキャンした画像をスマホに保存可能。（G1330 を除く）
- ウェブアプリケーション「PosterArtist」（無償）を利用することで、直感的な操作で簡単にデザイン性の高いポスターやチラシなどを作成し印刷可能。作りたいものや使う場所、目的に合わせてトップ画面からデザインテンプレートが選択可能。ポスター制作を支援する「オートデザイン」により、「飲食」「オープニング」などのカテゴリーを選びタイトルや画像などを入力するだけで、複数のカスタムデザイン案を自動的に提案。
- オンライン学習を支援する「Google Classroom」に対応。課題や解答用紙などの書類を自宅で簡単に印刷可能。（G1330 を除く）
- 文部科学省による「GIGA スクール構想」の学習者用推奨 OS の 1 つである「Google Chrome OS」に対応。また、Chromebook の互換性基準を満たした製品が認定される「Works With Chromebook」を取得。

※1.無料。対象機種、ダウンロード方法の詳細はホームページをご確認ください。

〈インクジェットプリンターの市場動向〉

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2021 年の出荷台数は国内では約 348 万台、全世界では約 5,786 万台でした^{※1}。2022 年の出荷台数については国内では約 367 万台、全世界では約 5,649 万台と見込まれています^{※1}。

※1.出典：IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2022Q2

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

- * Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * その他記載されている商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。